

海外進出支援プラットフォーム様_第3回ヒアリングレポート

令和3年度 輸出先国・地域における現地の体制強化委託事業 (海外展開に際して検討すべき現地の課題と対策にかかる情報整理及び 事業者への情報提供)

ベトナム

Nomura Research Institute Singapore Pte. Ltd.

TTP Holdings Joint Stock Company

2023年02月13日



企業ヒアリングレポート | ベトナム | Genki Farm（ベトナムユナ）様

【免責条項】

本資料にて提供される情報については、生産者や事業者の方々のベトナム輸出の一助となることを目的としているものであり、正確性、完全性、目的適合性、最新性を保証するものではありませんので、当該情報の採否は、ご閲覧者様ご自身の判断、責任において行ってください。なお、関係法令、制度等は調査時点以降改正されている可能性がありますので、実際のご検討の際には、各国等の関連機関に最新の情報をご確認下さるようお願いいたします。



ベトナム農業は、農薬や化学肥料の使用量が多く健康への被害が社会問題となっている。ベトナムの消費者が安心して口にできる無農薬野菜を提供したいという思いから日本方式の完全無農薬栽培を展開



ベトナムユナ有限責任会社 (Genki Farm) の概要

項目	内容
会社名	- ベトナムユナ有限責任会社 「Genki Farm : ゲンキファーム」
設立	2017年
会社概要	日本のプリント基盤メーカーの株式会社メイコーのベトナム子会社である日本投資家と日本の農業コンサルタント会社であるアグリメディアがタッグを組み、ハノイにて、ベトナムの消費者向けに、日本方式の完全無農薬栽培を展開
事業概要	- メイコーは、社会貢献の一環として、2018年年よりハノイで無農薬農業事業「GENKI FARM」を開始。日本で慣れ親しんだ野菜20品目をベトナムの消費者向けに栽培。栽培された有機野菜は、ハノイ市内のスーパーや日本人向け小売店等で販売されている - また、観光農園も開催しており、地元や日本人幼稚園の遠足、週末には家族連れなどが農場に迎え入れ、体験農業が行える場も提供している。

ベトナムにおける展開状況

項目	内容
進出の背景	- 農薬や化学肥料の使用量が多く健康への被害が社会問題 - メイコーの社会貢献の一環として、ベトナムの消費者が安心して口にできる完全無農薬の野菜を提供したいという思いから
経営体制	ベトナムユナは、日本投資家の100%出資にて設立された。現在は、ユナは自主運営されている。
ターゲット	- ベトナムでは有機・オーガニック食品の需要が高まっている - 健康への意識が高い富裕層向けに、生産から流通まで日本方式で管理し、高付加価値品としての地位確立を目指す

Genki Farmの事業内容

日本方式の完全無農薬栽培



- ✓ 堆肥・籾殻薫炭・ココナッツ繊維・畑の土などの混ぜ合わせ。
- ✓ 秋・冬野菜の育苗用の土壌作り
- ✓ 防草シートをひくことで、雑草の繁茂を予防し、マルチフィルムを張ることで、土の保温や病気を予防

小売・スーパー／外食等へ出荷



- ✓ ハノイ商店、Naturally Viet Nam、Orfarmなどに販売
- ✓ 外食需要も今後獲得を目指す

農業体験の提供





ベトナムの地で無農薬・無化学肥料栽培の難しさと日々奮闘する中、現地サプライヤーや従業員との関係性作り、また消費者への有機野菜への正しい理解を日々実直に発信することから顧客の信頼を獲得

ベトナム事業展開における課題

有機栽培 故の 難しさ	原材料 調達と 価格高騰	- 農業の原材料として、種子、農業資材（防草シート、害虫ネット等）が挙げられ、主に現地調達されているが、日本野菜となる「なす、きゅうり、ピーマン、からし菜」等の種子は、年2回日本から輸入されている。 - 自然由来の肥料等を使用しており、一般的な肥料より価格が高く、また、国内外問わず原材料は年々高騰。種類によっては、約5%～12%増回し経営を圧迫している。
	有機規格 への厳守	ベトナムでは中央省庁の植物保護局による農場での安全衛生野菜の検査が定期的に行われ、適切な農業が行われているか、安全で衛生的な野菜が栽培されているか検査が実施されている。
	消費者の 理解	化学肥料等を使用しない無農薬栽培では、野菜の成長をコントロールするのが非常に困難。結果、葉物野菜やキュウリなどにおいては一部曲がったり、色付きがまばらだったり、皮の表面を少し虫がかじったり等が発生する。
日本野菜の 販路拡大		- 現在、栽培された有機野菜は、ハノイ市内のスーパーや日本人向け小売店等で販売されている - ベトナムでは、小松菜など日本野菜への馴染みなく当初は取り扱いされ難かった
人材の安定		安定した農場運営には、より良い人材の定着化が必須である

取組み

- 農薬を全く使用せず、地域の資源をできるだけ活用し、自然が本来有する生産力を尊重した方法で生産している - 防草シートなど資材の再利用、傷んだ野菜等を肥料としてコンポストを行っている - また、販売価格の値上げで対応している	
- 有機JAS規格に準じた日本方式の完全無農薬栽培を行っており、安全で安心な美味しい野菜を栽培を行っている - 当局では、定期的／非定期的な監査が実施されきちんと対応している必要がある	
- ベトナムでは有機食品の需要が高まっており、一定の理解はされ易くなってきている。 - 味や品質、安全性には全く問題はないことを、小売やSNS、また農園体験等を通じて消費者に伝える活動を行っている	
購買担当者とコミュニケーションを図り、安心安全な野菜であること、小松菜など日本では馴染みの野菜であること実直に伝える。また、Facebookを活用し、消費者に直接宣伝することで今では売れ筋商品となった	
- 当社の人材は安定しており、長く勤めている - 採用条件を厳格に設けるのではなく、健康で農業への適性を見極めるのが大切である	